

夕刊 発行所 小名濱町 電話 一四七

バス衝突問題をめぐる

慰藉料問題解決の光見ゆ 結局四千圓程度か?

昨年夏相馬野馬追ひ見物の江名町長吉原氏が被害者側手打の曙光は目前に迫る...

事變の影響を示す

平市昨年の人口動態 人口増加一昨年より減少

平市に於ける昨年中の人口動態は出生 千五百八十人、死亡 千五百四十一人で結局五百三十九人の人口増加である...

クズリ 資生堂 小名濱町 電話 一四七

待望久しき島橋

三千七百圓で架換 玉川村島部路に通ずる島橋...

二十年前家出した 父を求めて

平署へ涙ながらの捜査願 二十年前村人から肺病だと云はれるのを苦しむ山...

十二圓献金

勇尾の原田秀子 さん外七名で 江名町永福寺境内原田...

三十五圓

江名町吉田長八氏 江名町中之作吉田長八氏母...

佐藤鶴松氏

二百圓献金 江名町佐藤鶴松氏は過般應...

鮫川砂利許可 小名濱町日本水素工業の工場...

新設

岩手醫學士 耳鼻咽喉科 専門 舟田義孝

産科婦人科 専門 森口徳郎

入院手術 森口醫院

齒科一般口腔外科 鈴木齒科醫院

酒銘 玉の井 長瀬彰義護造元

玉川村林城

巷の聲

日素對水野(德)氏の移轉問題 部落の努力、奏功して解決へ

日本水素工業と水野徳次郎氏との間の移轉問題に絡み、先には町議より成る委員が折衝したが手を引くのが折衝したるが、爲めに工場已なきに至り、爲めに工場地帯たる第四區は鈴木定太郎區長が先頭に立ち何とか解決の方法を部落有地を提出しても移轉せしむべく他人事ならざる努力を拂つたが、流石の水野氏もその熱意に動かされ、一月四日の會見に於て、第四區有力者の御顔を立てる意味に於て換地の有無に拘らず私の工場地帯一切を移轉する事にする、但し移轉料金等に就ては私の代理人が東京にあるから本社と直接交渉させて欲しいと、申出で茲に部落有志の顔を立てて一旦打切る事になつた。かくして本社對水野氏の代理が、人の橋に當る事になつたが、代人は東京の辯護士との交渉は會社としても當然支拂ふべき移轉料であり代理人たる人も評價を中心として正しく公平に解決の衝に當るのだから、随分暫くの間町當局を悩ませた日素工場地帯も愈々全部の移轉が決定し、格的工事に着手出来る事になる譯だ

平市出町 江尻醫院 電六九一四

健實第一 業企への發出 山郡無盡 平出張所 山下無盡 加入下入

北川外科 内臓外科 レントゲン科 花柳病科 泌尿器科 北川芳夫 醫師 三浦常保 技師

吉田屋別館 牛なべ 金五十銭 金六十五銭 電話十四番

互融會事業近況 (昭和十二年) 融通報告 融通口數 九三〇口 融通金額 四、〇〇〇圓

石城中小商工互融會 太平火災保險相互會社 小名濱町 植田町 電話一七三番

磐城セメント 釜屋商店 東京振替口座一〇九五六 電話九番九九番

江小名濱運送株式会社 磐城海岸軌道線指定 混合ひますから早目に

銘酒清世界 釀造元清水屋本店 電話六番

丸八鐵工場 船舶陸機關 製作修膳 電話一七五番

草野醫院 内科外科 小兒科 花柳病科 電話一七三番

新春の装ひ全く完備 サービス嬢の装ひも 萬點に御待ち申して居ります

森合齒科 院長 森合芳男 電話植田七十一番

石井醫院 内科・外科(内臓外科) 花柳病科・皮膚科 電話十八番

平川醫院 内科外科 小兒科 花柳病科 電話二六番